

新・総合療育センター（本体）の再整備について

1 主な機能

(1) 外来診療

新施設	現施設
13科目	12科目

【内訳】

小児科、内科、精神科、㊦児童精神科(H27.4開設)、リハビリテーション科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、㊦婦人科、歯科、小児歯科、矯正歯科

※常設又は非常設については検討中

(2) 入所・入院

新施設	現施設
165床（うち短期入所30床）	100床（うち短期入所20床）

※短期入所とは、障害児・者の家族が病気や冠婚葬祭等により一時的に介護できない場合や、家族の精神的・身体的な負担の軽減を図る場合などに、短期間（概ね2～3日）受け入れを行い、医療的管理の下、日常生活全般の介護を行うサービス

(3) 通所

	新施設	現施設
児童（～就学前）	50人	80人
成人（一部15～19歳）	15人	15人
合計	65人	95人

※西部分所の40人を入れると実際は105人となり、定員増となっている。

2 施設概要

(1) 建物の主たる構造 鉄筋コンクリート造（地上4階建）

(2) 延床面積 約18,400㎡

(3) 病床数 165床

(4) 駐車場 約150台

(5) 階構成

1階：外来診療、リハビリテーション(理学、作業、言語聴覚)、地域支援室(各種相談)、放射線(X線等)、厨房、検査室(脳波、筋電図)、食堂、おもちゃライブラリー

2階：通所(児童・成人)、管理(スタッフ室、医局、会議室等)、薬剤(薬局等)

3階：第1病棟(治療)、第2病棟(長期濃厚医療)、手術室、検査室(検体検査)

4階：第1住棟(主に児童の長期生活)、第2住棟(主に成人の長期生活)

(6) 主な特長

<外来診療>

- ・診察室を現在の9室（カーテンで仕切るなど計11室として使用）から、医師数等を踏まえ、21室に増設する。（隔離診察室を含む。）
- ・待ち時間をできるだけ快適に過ごせるよう、待合に、利用者が交流できるスペースやこどもが遊べる遊戯スペース、中庭等を配置する。

<病棟>

- ・プライバシーへの配慮から、個室を基本とし、特別な看護が必要な入所者用に、一部2床室を配置する。（個室105室、2床室30室）
- ・入所者が長期生活を送る4階の住棟には、ユニットケア方式を導入し、より家庭に近い環境を提供する。

3 今後のスケジュール

平成28年12月 建築工事契約・着工（予定）

平成30年7月 建築工事竣工（予定）

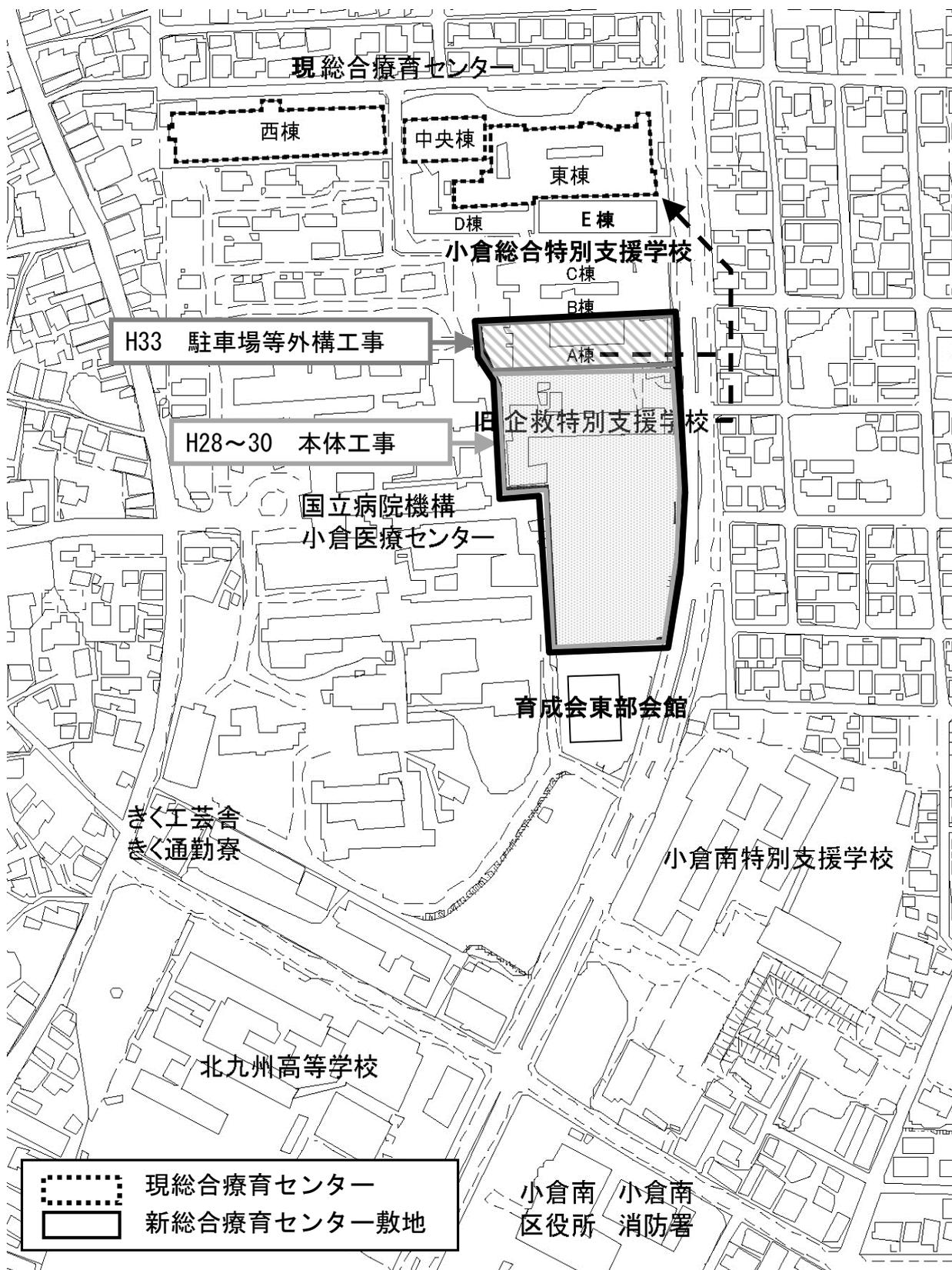
平成30年11月 開所（予定）

4 概算事業費 10,438百万円（消費税10%見込）

【内訳】

- | | |
|--------------------|----------|
| ・建築等工事費 | 8,967百万円 |
| ・医療機器等購入・情報システム導入費 | 1,050百万円 |
| ・設計費、解体工事費等 | 421百万円 |

5 建設予定地（小倉南区春ヶ丘10番）



6 新・総合療育センター（本体）イメージパース

■鳥瞰図



■正面図



■玄関ロビー



7 部門配置計画図 (案)

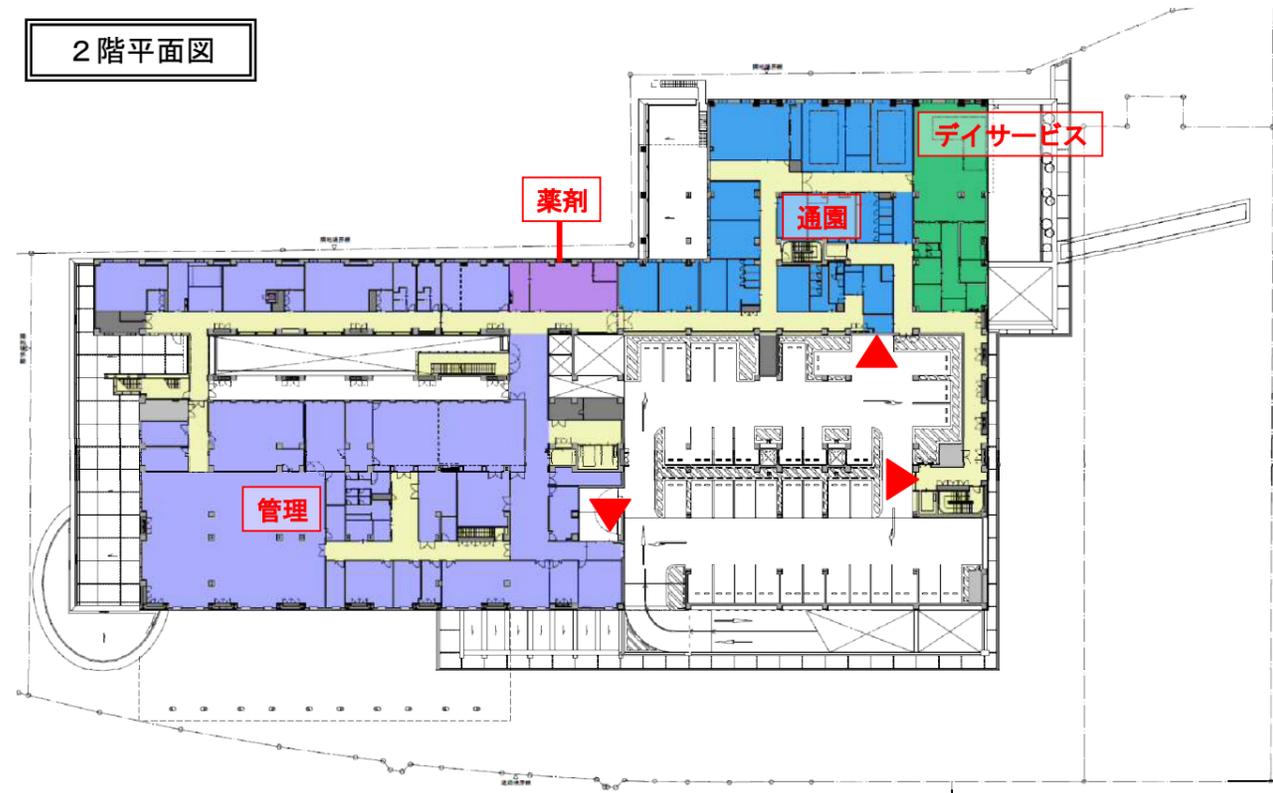
凡例

外来 (各科)	リハビリ	通園 (児童)	厨房	薬剤・放射線・検査
外来 (共用部)	病棟・住棟	デイサービス (成人)	食堂他	廊下・階段・EV
管理	手術	地域支援	機械室	出入口 ▲

1階平面図



2階平面図



3階平面図



4階平面図

